



本校は平成 28 年度に災害科学科を設置した初年度から iPad^{※1}を導入してきました。その間、宮城教育大学^{※2}や文部科学省^{※3}の指定、ご協力のもとで、教員のみならず生徒の個別の ICT 利活用の在り方を考えてきました。また、文部科学大臣メッセージでは「Society 5.0 時代に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテム」といわれており、さらに新学習指導要領に「情報活用能力」が記載されるとともに、令和 7 年度実施の大学入学共通テストから教科「情報」が実施される予定です。

近年の本校の取り組みは、災害科学科のみならず普通科においても宮城県教育委員会から整備された iPad を使用した協働型の授業展開が実施されています。また Google Workspace for Education^{※4}により各授業や部活動の連絡及び情報の共有、授業補助動画の配信、課題の配布・回収などを行っております。新型コロナウイルス感染拡大時期のオンライン授業等により、さらにデジタル化が加速しています。

このような社会情勢、取り組みから令和 4 年度入学生から普通科にも iPad を購入していただくことを決めました。授業だけではなく、部活動や各種行事、家庭学習等、あらゆる場での iPad の利活用を通して、生徒の情報活用能力の向上、知的好奇心や探究心を刺激することを目指します。

※1 「iPad」は Apple inc.の商標です。
※3 「情報教育推進校 (IE-School)」

※2 「地 (知) の拠点整備事業 (大学 COC 事業)」
※4 「Google Workspace for Education」は GoogleLLC の商標です。